

協賛している「車いすバスの旅事業」について

神奈川県遊技場協同組合（理事長：伊坂重憲）、神奈川福祉事業協会（会長：伊坂重憲）は、社会貢献活動の一環として、平成元年から神奈川新聞厚生文化事業団及びフュージョンコムかながわ・県肢体不自由児協会が共催する「車いす空の旅・バスの旅事業」に協賛しています。

「車いす空の旅・バスの旅事業」は、主に車いすで生活をしている肢体不自由児者とその家族を沖縄や八ヶ岳などに招待する事業であり、職員がボランティアとして同行しています。

この事業には、毎年300万円を支援しています。

1. 日 時	平成29年9月8日（金）～9日（土）
2. 場 所	八ヶ岳（山梨県）（河口湖畔、清里高原、見晴し園など）
3. 主 催	神奈川新聞厚生文化事業団 フュージョンコムかながわ・県肢体不自由児協会 共催
4. 参加者	肢体不自由児10名とその家族、他ボランティアなど19名

5. 概 要

横浜ベイシェラトンホテル&タワーズで行なわれた出発式では、江川明裕副理事長（副会長）が「雄大な八ヶ岳連峰で楽しい旅の思い出をつくってほしい」と呼び掛けて見送りました。

参加者は、1泊2日の日程にて、河口湖畔や清里高原の清泉寮などで大自然を満喫し、山梨県笛吹市にある見晴し園ではブドウ狩りに挑戦しました。

夕食時には、お楽しみ会やカラオケなどを行ない、参加者は豪華賞品が当たるくじ引きに一喜一憂し、歌い踊って楽しく過ごしました。

なお、この「車いすバスの旅事業」については、9月9日及び10日付の神奈川新聞にそれぞれ掲載され、10月7日には、神奈川新聞特集記事として掲載されました。

出発式



清里高原・清泉寮

